

対象国の条件 : 全世界

研修コース番号 : 201984745-J002

案件番号 : 201984745

主分野課題 : 自然環境保全/生物多様性保全

副分野課題 :

使用言語 : 英語

**案件概要**

本案件の実施予定地の石川県は里地里山の占める割合が6~7割と言われ、日本国内でも特筆される里山関連の取り組みが行われている。本案件では、日本の里山政策等の講義を通じてSATOYAMAイニシアティブ (IPSI含む) への基礎理解を深め、石川県内の里地里山の劣化の現状と取組を知りその教訓を学ぶとともに、参加者の自国の自然資源管理の実態について日本の実態と比較し、自国の二次的自然資源管理について参考としてもらう。

**目標/成果**

**対象組織/人材**

**【案件目標】**

日本の里地里山における生物多様性の保全と持続可能な利用の実践事例からSATOYAMAの概念を理解し、様々な関係者が協働して取り組む事例を学ぶことにより、自然環境の保全と住民の生計向上の両立という視点から自国における地域振興を導くための業務に活用される。

**【成果】**

1. 里山とSATOYAMAイニシアティブ、またこれらに関連する施策について理解する。
2. 里山における生物多様性保全と地域振興のための多様な主体の参画による協働管理システムについて理解する。
3. 里山における生物多様性保全と地域振興のための能力構築や普及啓発について理解する。
4. 里山資源をビジネスとして活用する手法を習得する。
5. アクションプランを作成するために、日本及び各国の知識や経験を共有する。

**【対象組織】**

自然環境保全と地域振興の両立に関わる中央政府及び地方自治体や関連団体

**【対象人材】**

1. 自然環境保全と地域振興の両立に関わる中央及び地方自治体の行政官もしくは関係団体職員
2. 当該分野の経験を5年以上有する者

**内 容**

**【事前活動】**

自国における村落を取り巻く環境状況及び地域振興の現状に関するカントリーレポートの作成

**【本邦研修】**

- 以下の内容の講義、視察、事例研究等を行う。
1. 自国における村落を取り巻く環境状況及び地域振興の現状分析と意見交換
  2. SATOYAMAの概念、歴史及び国家戦略や石川県における里山里海保全利用施策についての講義
  3. 日本の里山地域の現状についての講義及び視察
  4. 日本の地域保全、地域振興に関わる関係者の協働体制についての講義及び事例研究
  5. 石川県における地域振興の課題と実際の取組状況についての視察及び事例研究
  6. アクションプランの作成及び発表

**【事後活動】**

1. 帰国後の所属先等への研修報告及び情報共有
2. アクションプランの導入及び実践レポートの作成

本邦研修期間

2019/9~2019/11

担当課題部

地球環境部

所管国内機関

JICA北陸

関係省庁

実施年度

2017~2019

主要協力機関

一般財団法人 自然環境研究センター

特記事項  
及び  
ホームページ